

公益社団法人天童青年会議所 2018年度 事業計画書

第2回予定者会議	2017年10月05日	協議
第3回予定者会議	2017年10月26日	協議
第4回予定者会議	2017年11月09日	審議

委員会名：将棋のまち創造委員会

委員長：川股 隆宏 委員：貴田 忍
副委員長：高橋 秀和 委員：鈴木 基弘
幹 事：古澤 裕之

<事業名>

1. 第39回全国中学生選抜将棋選手権大会（第20回女子の部）の実施・県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索
3. 将棋関連事業全般への協力
4. 全員で取り組む会員拡大の実施
5. 組織として取り組む関係各種諸団体との連携
6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

<基本方針>

若手棋士の躍進などに起因して将棋が近年にない盛り上がりを見せている中、天童は将棋駒の生産地として注目される機会が増え、実際に将棋を指す市民も増えてきています。こうした好影響を一過性のもので終わらせることなく、全国に誇れる天童のたからが市民に親しまれ発展し続けていくよう我々は運動を展開する必要があります。

まずは、将棋が地域の重要な資源であると理解を深めてもらうために、「青少年の健全育成」「将棋人口の拡大」「地場産業の発展」を理念に全国中学生選抜将棋選手権大会を開催します。そして、将棋のまちで行われる本大会が市民にとって誇りと思えるものとなるために、参加選手が将棋の作法をもって相手を敬う気持ちで接し、メンバーの本大会に対する意識を高め伝統を受け継ぎながらも正確で効率的な運営方法を模索します。さらに、まちづくりを効果的に推し進めるために、関係諸団体と連携を図り将棋関連事業全般へ協力し、より良い関係性の構築を目指します。

本大会を通じて各県代表の矜持を持った選手が礼節正しく振る舞い、市民がまちの誇りとして将棋に愛着を持ち、将棋文化が浸透しまちづくりへ積極的に参画してもらえ、愛と希望溢れる「将棋のまち天童」を創造します。

<事業概要>

1. 第39回全国中学生選抜将棋選手権大会（第20回女子の部）の開催（例会）

県、地区予選会への協力

日 時：2018年8月2・3・4日（木・金・土）

場 所：ほほえみの宿 滝の湯

1-1 講演

日 時：2018年8月3日（金）

講 師：プロ棋士（予定）

対象者：選手、日本将棋連盟天童支部所属中学生、天童市内中学生

内 容：未定

1-2 上記大会の県、地区予選会への協力

- ・第39回全国中学生選抜将棋選手権大会 天童地区予選
- ・第39回全国中学生選抜将棋選手権大会 山形県予選

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索

2-1 運営方法の継続・実施

- ・礼を重んじる大会
- ・将棋駒の製作実演・販売及び駒製作工程のパネル展示（駒組合への協力依頼）
- ・天童市内中学生から運営面での協力をいただく
- ・大会歴史垂れ幕の展示

2-2 発展を目指した運営の模索

- ・実行予算の精査
- ・協賛金収集の精査
- ・運営マニュアルの精査
- ・大会情報を広める発信方法の精査
- ・大会を通して特に礼儀正しい選手を称える特別賞の検討
- ・天童市内の将棋にまつわる情報を集約、整理し一般公開

3. 将棋関連事業全般への協力

天童市民将棋大会・大山杯争奪将棋大会等

4. 全員で取り組む会員拡大の実施

5. 組織として取り組む関係各種諸団体との連携

6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

<年間スケジュール> [※別紙データに記入](#)

<予 算>

¥7,720,000-

<年間テーマ>

深謀遠慮

<委員長コメント>

天童J Cのメイン事業を担当する身として自覚を持ち、これまでの経験と自分の持てる能力を最大限に引き出し、この一年間だけでなく将来にも活かせるような綿密な計画を立て運動に邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。